



目次

- 1. 第 38 回 全国土地改良大会 青森大会開催～土地改良の路繋ぎ明日への確かな途拓く～ ..... 2
- 2. 平成 28 年度 農業農村整備事業関係予算概算要求に関する説明会及び意見交換会開催 ..... 4
- 3. 宮崎市内の小学生が農業用施設の見学会を実施 ..... 5
- 4. 多面的機能支払交付金システム研修会開催 ..... 6
- 5. 12 月の予定 ..... 6



「多面的機能支払交付金」を活用し、満開に咲いたコスモス(宮崎市南部芙蓉の会地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会)

# 第38回 全国土地改良大会 青森大会開催

～土地改良の路<sup>みち</sup>繋ぎ明日への確かな途<sup>みち</sup>拓く～

第 38 回全国土地改良大会青森大会は、去る 10 月 15 日（木）午後 1 時より「新青森県総合運動公園（マエダアリーナ）」において、全国水土里ネット（二階俊博会長）と水土里ネット青森（野上憲幸会長）の主催により「土地改良の路<sup>みち</sup>繋ぎ明日への確かな途<sup>みち</sup>拓く」をテーマに、全国から土地改良関係者約 3,500 名（本県より 51 名）の参加のもと盛大に開催した。



二階会長挨拶の様子

大会では、はじめにオープニングセレモニーとして、青森の四季を表す「冬」の津軽三味線、「春」の津軽民謡、「夏」のねぶた囃子、「秋」の手踊りが披露され、会場内は一気に歓迎ムードに包まれた。

式典に移り、主催者である二階全国水土里ネット会長が、「農業は、地域の根幹をなす重要な産業の一つであり、農業・農村の振興は地方創生に無くてはならない大きな課題です。このため、政府は骨太の方針や日本再興戦略に「土地改良事業の一層の推進」が謳われ、土地改良の重要性を再認識いただいているところです。現在、来年度の予算編成作業が進められており、平成 28 年度概算要求は昨年度と比べ 1,000 億円の増額要求をしていただきました。年末に行われる政府概算決定時の十分な予算額確保に向けて我々は全力を尽くしていかねばならない。」と挨拶を行った。

その後、三村申吾青森県知事の歓迎の挨拶、伊東良孝農林水産副大臣の来賓祝辞が行われた後、土地改良事業功績者表彰に移り、農林水産大臣表彰 6 名、農村振興局長表彰 16 名、全国土地改良事業団体連合会会長表彰 45 名に表彰状と記念品が授与された。本県からは、米良昇水土里ネット宮崎市南部監事が全国土地改良事業団体連合会会長表彰を受賞した。次に、室本隆司農林水産省農村振興局次長、三村青森県知事より基調講演が行われた後、進藤金日子都道府県水土里ネット会長会議顧問を聞き手とし、東日本大震災の津波によって特に被害の大きかった岩手県、宮城県、福島県の各水土里ネット専務理事から『東日本大震災、その後の新たな芽生え』と題し、被災及び復旧状況の基調報告が行われた。その後大会宣言に移り第 17 回全国土地改良大会（青森大会）宣言者及び、青森県営農大学校生より「私たち水土里ネットは、「土地改良の路<sup>みち</sup>繋ぎ明日への確かな途<sup>みち</sup>拓く」に思いを馳せ、魅力ある農業農村の明るい未来を確かなものにしていくため農業農村の礎である「水・土・里」を健全な姿で次世代に引き継いでいく」とした宣言文が力強く朗読され、会場から盛大な拍手を受けた。

続いて次期開催県となる石川県が発表されると共に大会旗が水土里ネット石川に引き継がれ、最後に今



聞き手役として進行を行う進藤顧問



事業視察(都市近郊型のほ場整備 ハツ役地区)の様子

大会の成功を祝し、併せて次期石川大会の盛大な開催を祈念して、万歳三唱が行われ大会は盛会裡に終了した。

翌日は事業視察が行われ、本県参加者は「都市近郊型のほ場整備 ハツ役地区」「小規模落差小水力発電 早川第 1 号小水力発電所」の視察を行った。

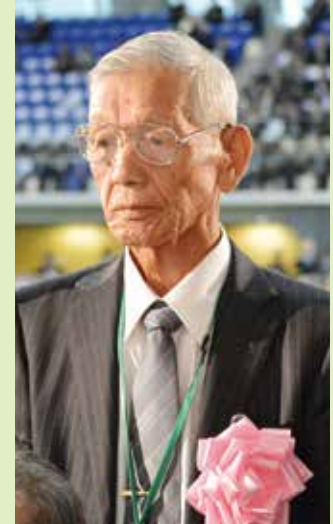
## 本県からの土地改良事業功績者表彰受賞者紹介

### ◆全国土地改良事業団体連合会会長表彰

**米良 昇** (75 歳)

所属団体 **宮崎市南部土地改良区**

経 歴 (旧)赤江土地改良区 **監 事** (平成11年4月～平成13年3月)  
 (旧)赤江土地改良区 **理 事 長** (平成13年4月～平成17年3月)  
**宮崎市南部土地改良区** **副理事長** (平成17年4月～平成23年3月)  
**宮崎市南部土地改良区** **理 事 長** (平成23年4月～平成27年3月)  
**宮崎市南部土地改良区** **監 事** (平成27年4月～現在)



### 表彰理由

氏は平成 11 年に旧赤江土地改良区の監事に就任。土地改良区組織が再編されて以来半世紀が経過する中で、農業農村を取り巻く環境は農家の減少、高齢化の進行などに加え、農村地域における都市化・混住化の進展、農産物価格の低下など農業経営にとって大変厳しい状況にあり、土地改良区を取り巻く情勢も大きく変貌し運営にも様々な支障が生じてきた。このような中、平成 13 年から理事長に推挙され、組織運営体制の強化を図るため、受益地が隣接する清武川土地改良区、加江田土地改良区と合併に向けた統合整備推進協議会を設立し、組合員から多く寄せられる要望や問題点についても、持ち前の行動力、発言力を遺憾なく発揮し、昼夜を問わず合併に全力を注ぎ、平成 17 年 3 月に合併へと導き「宮崎市南部土地改良区」が誕生した。この合併により役員数、総代数が減少するなど組織の合理化が図られ役員報酬や実費弁償費等の運営経費が軽減されることにより、組合員の負担軽減に繋がった。

新土地改良区設立と同時に副理事長に就任し、平成 19 年度からスタートした農地・水支払交付金には、いち早く取り組み、地域住民の先頭に立ち、農業用施設の維持管理を行い、農地や土地改良施設の重要性和土地改良区の役割等の理解促進に力を注いだ。

氏は、これらの実績が認められ平成 23 年には理事長に就任し、組合員数 1,150 人、受益面積 538ha の市内最大規模を図る土地改良区を束ねると共に、厳しい農業情勢の中でも、賦課金徴収率は 99% 台を維持し、100% を目標に役職員一丸となって頑張っている。

これらの実績は、氏の卓越した指導力・統率力と 16 年の永きにわたり一貫した信念と情熱のもと、事業推進に取り組んだ賜物であり、その功績は誠に顕著である。

## 平成28年度 農業農村整備事業関係予算概算要求に関する説明会及び意見交換会開催

宮崎県は、去る 10 月 21 日（場所：延岡市役所 7 階議会大会議室）及び 22 日（場所：宮崎県土地改良会館 4 階大会議室）の県内 2 会場において関係者合計 224 名の参加のもと、平成 28 年度農業農村整備事業関係予算概算要求に関する説明会を開催した。



説明会の様子(宮崎会場)



意見交換会の様子(延岡会場)

説明会は、はじめに主催者を代表して河野善充宮崎県農政水産部農村計画課長が、「本日の説明会は、農業農村整備事業関係予算の概要や最新情報等の説明を頂き、関係者一丸となって予算の確保に向けて取り組んで行くことが重要である。」と挨拶。次に、原川忠典農林水産省農村振興局設計課計画調整室長が「平成 28 年度農業農村整備事業関係予算は、27 年度当初予算より 1,000 億円増額の 4,588 億円を要求している。予算確保に向けて今後も現場からどんどん声を挙げて欲しい。」と挨拶した。



説明する原川室長

続いて予算等の説明に移り、原川室長が「平成 28 年度農業農村整備事業関連予算概要について」、小谷匡農林水産省農村振興局防災課課長補佐が「各種事業の概要について」、池田一行農林水産省地域振興課日本型直接支払室課長補佐が「非公共事業概算要求について」説明した。

その後、会場を移し、前田穰綾町長、肥後正弘小林市長、原田俊平五ヶ瀬町長並びに、県内より選出された水土里ネット理事長 12 名の外、県の各振興局及び支庁の担当課長を含む関係者の出席により意見交換会が行われ、地方の声、疑問、要望等が出される中、熱心な議論が展開された。



挨拶する河野課長

# 宮崎市内の小学生が農業用施設の見学会を実施

本会では、県の「中山間ふるさと水と土保全基金事業」を活用し、ダムや頭首工など農業用施設の役割、農業用水の重要性、さらには施設の保全管理の必要性を理解してもらうため、将来を担う小学生を対象に施設見学会や農業体験学習を実施しています。

## ●広沢ダム施設見学会



広沢ダム

### 広沢ダム概要

|              |   |
|--------------|---|
| 河川           | 大淀川水系浦之名川                               |
| 型式           | 重力式コンクリート                               |
| 堤高／堤頂長／堤体積   | 62.7m / 199m / 17 万 $\text{m}^3$        |
| 流域面積／湛水面積    | 43 $\text{km}^2$ （全て直接流域） / 35ha        |
| 総貯水容量／有効貯水容量 | 510 万 $\text{m}^3$ / 380 万 $\text{m}^3$ |

今回は、去る 10 月 30 日（金）宮崎市立瓜生野小学校 5 年生 30 名を対象に広沢ダム（国営造成施設）の施設見学会を行った。

はじめに、これまで当事業で行ってきた活動である田植え、稲刈りなどの経緯と、本日の施設見学会の主旨を説明した。広沢ダムを管理する湯地初男水土里ネット大淀川左岸事務局長の挨拶の後、福山卓也主任技師より農業水利事業について、宮崎市、綾町、小林市の畑地等に水を配るために「広沢ダム」「岩前頭首工」「ファームポンド」「パイプライン」が造られ、現在では 1,664ha の畑地などに水が配られていると説明。その後、監査廊内の見学を行った。

児童より「監査廊の中は暗く、ひんやりしていた。ダムが造られる工程、ダムの深さなど、学校では教えられないことが学習出来て楽しかった。瓜生野小学校付近にも広沢ダムの水が流れている事を初めて知った。知らないことがたくさん分かって感動した。」等の感想があった。



挨拶する湯地事務局長



ダムの概要を説明する福山主任技師



監査廊を見学する児童達

### ●松井用水路施設見学会

今回は、水土里ネット宮崎市南部（岩切秀夫理事長）の協力により、去る 10 月 26 日に宮崎市立国富小学校 4 年生 145 名、10 月 27 日に宮崎市立江南小学校 4 年生 112 名、10 月 28 日に宮崎市立高岡小学校 4 年生 48 名、10 月 30 日に宮崎市立宮崎西小学校 4 年生 57 名の小学生に対し、宮崎市の歴史ある農業用水路「松井用水路」の見学会を実施した。

見学会は、清武川の新井手頭首工をスタートし、松井用水路を通り松井神社までのコースとなっており、米良昇同水土里ネット監事より頭首工の仕組みから食料生産や引水などについて先人達の苦勞について説明を頂き、食の重要性やその基礎となる農業農村が持つ様々な働きについて学習した。

児童より「川の水は頭首工や水路の働きによって田んぼまで運ばれて来ることを知った。」「社会で勉強した松井五郎兵衛さんの話の中で、農民たちのために、井堰建設や用水路開削に身を賭したと聞いて、改めて凄い人だと思った。」と感想が述べられた。

#### 今後の予定

|           |            |            |
|-----------|------------|------------|
| 11 月 6 日  | 宮崎市立大淀小学校  | 4 年生 119 名 |
| 11 月 12 日 | 宮崎市立檉小学校   | 4 年生 96 名  |
| 11 月 24 日 | 宮崎市立住吉南小学校 | 4 年生 90 名  |



松井神社での説明の様子



新井手頭首工での説明の様子

## 多面的機能支払交付金システム研修会開催

宮崎県多面的機能推進協議会（猪股敏雄会長：水土里ネット宮崎常務理事）は、去る 9 月 30 日から 10 月 9 日にかけて県内 6 カ所で 147 活動組織（参加者 329 名）に対し「多面的機能支払交付金システム研修会」を開催した。



研修会の様子

宮崎県多面的機能推進協議会は、活動組織が作成する各種報告様式の統一化と事務手続きの円滑化を図るため、「多面的機能支払交付金システム」を開発した。今回のシステムを活用していただくために、活動組織、市町村、県の担当者を対象としシステムの入力方法などの説明会を開催した。

#### < 研修内容 >

- 1 多面的機能支払交付金システム（活動組織版）の操作・入力方法について
- 2 多面的機能支払交付金システム（県、市町村版）の操作・入力方法について

## 12月の予定

- 3~4日 宮崎地区土地改良協議会現地研修 (長崎県)
- 3~4日 児湯土地改良協議会現地研修 (鹿児島県)
- 7~8日 東臼杵地区土地改良協議会現地研修 (熊本県)